

1) 杖道とは

太刀を持った攻め手と槍を持った受け手とのコミュニケーションである。

2) 勝敗

杖道における勝敗には、5つのポイントが重要視される。

1. 「型」
2. 「声」
3. 「姿勢」
4. 「動作・所作」
5. 「関係性」

1. 「型」

型を判定人へ披露する杖道において、「型」の力強さは言うまでもなく重要であろう。如何にして型を離れて相手へ踏み込んでいけるかは大切であるが、型に意識を取られ腰より先に腕が動いてしまうことは避けなければならない。腰が引けていることはいい印象を与えない。

2. 「声」

声の大きさも重要である。聴衆者の視線を集めるのはやはり声だ。喉から出すのではなく、腹から声が出ているかは、後者のほうが声が響き見る側を引き込む。声を出すのではなく、張る感覚が近いかもしれない。

3. 「姿勢」

槍、もしくは太刀を構えた姿勢に、筋が通っているのかは、構えからよくわかる。視線を集めるための期待感として、姿勢、すなわち存在感は非常に重要である。

4. 「動作・所作」

すでに決められた型を演じるからこそ、型を忘れさせるような動作はまた重要だろう。流動性や柔軟性は、躍動感を杖道に沿え、視聴者を引き込ませる。

5. 「関係性」

タッグを組む相棒との関係性は非常に重要である。杖道において、もっとも目立たせなければいけないのは、攻め手側ではなく、槍を持った受け手側である。先攻で、槍を持っていた人間が交代した後、パートナーの演技を活かすように、静まることは、好印象を与える。

上述したように、杖道におけるコミュニケーション戦略では5つの視点が重要である。これらのものは単体で評価するのではなく、総合的に評価される。最後の瞬間に印象に残ったほう、目が惹かれたほうが、杖道では勝利する。

3) 写真

